

日 誌 (昭和 39 年 5 月)

【国 内】

- 8日 ○政府、国内物価の騰貴にかんがみ、レモンの輸入を自由化
- 26日 ○政府、最高輸出会議において本年度の輸出目標

を通関ベース 6,532 百万ドル(為替ベース換算 6,350 百万ドル)と決定

【海 外】

- 1日 ○スイス、国民銀行市中貸出の抑制を実施
- 3日 ○韓国、為替レートの切下げ(1米ドル 130 ウオン→255 ウオン)と外国為替証書制度の導入
- 4日 ○関税一括引下げに関する GATT 閣僚会議、ジュネーブにて開催(6日まで)
○欧州投資銀行、イタリアに対し 190 億リラの借款供与に調印
- 5日 ○ソ連・アルジェリア共同コミュニケ調印(ソ連から 115 百万ルーブルの借款供与)
- 10日 ○パナマにて大統領選挙、マルコ・ロブレス氏当選
- 11日 ○韓国、丁一権氏を首班とする新内閣成立
- 12日 ○国際流動性問題に関する IMF 10 か国蔵相代理会議、パリにて開催(13日まで)
○NATO 理事会、ハーグにて開催(14日まで)
- 13日 ○ブラジル政府、キューバとの外交関係断絶を発表
○IDA (国際開発公社) に対する追加払込み(312 百万ドル)法案、米議会を通過
○西ドイツ、工業製品関税の大幅引下げを決定
○イタリア、賦払信用規制法案上院を通過

- 中共・ソ連64年度バーター貿易議定書調印
- 17日 ○ビルマ新通貨措置を実施(50ならびに 100 チャット紙幣の流通を直ちに禁止)
- 18日 ○ジョンソン米大統領、南ベトナム援助特別教書を議会に提出し、125 百万ドルの対外援助追加を要請
○通商、政治関係の改善に関する、米、ルーマニア会談、ワシントンにて開催(6月1日まで)
○イタリア、EEC に対し自動車輸出の制限を要請
- 20日 ○フランス、国債強制保有率の引下げ(13%→10%)
- イタリア、IRI (産業復興会社) ドル建転換社債 25 百万ドルを発行
- 24日 ○ソ連・アラブ連合共同コミュニケ調印(ソ連から 250 百万ルーブルの借款供与)
- 26日 ○対インド債権国会議の開催
- 27日 ○インドのネール首相死去、ナンダ内相が暫定的に首相に就任
- 28日 ○米財務省、IMF から 125 百万ドル相当の外貨を引き出した旨発表